

あめ ナシとブドウ生かした飴

館林商工オリジナル飴開発・販売



開発した飴を手にする新井泰尋さん(右)と栃本直哉さん

県立館林商工高等学校の生徒2人が、明和町特産のナシとブドウ「巨峰」をヒントにオリジナル飴2種類を開発し、2月7日に町農産物直売所と町老人福祉センターの2か所で販売しました。
2人は同高吉原久永教諭の指導のもと、「課題研究」の授業で飴の商品開発を企画。当初は明和産のナシとブドウを原料に使う計画でしたが、



加工品がなかったため断念し市販の加工原料を使って商品化にこぎつけました。
商品名は「利根川と渡瀬川に囲まれた大地で誕生した飴」。パッケージの表には館林市と明和町の位置が一目で分かる地図、裏側にはそれぞれの観光地や特産品の紹介が掲載されています。開発した2人は「館林市、明和町のよいPRになればいいと思います」と話していました。

万一の対処方など学ぶ

不審者防犯・避難訓練

町教育委員会では2月25日、中央公民館および社会体育館合同の不審者防犯・避難訓練を行い、職員が不審者侵入時の対応と施設利用者の避難誘導等の仕方を学びました。
訓練は、鉄パイプを持った不審者が公民館ロビーに乱入したと想定。職員は防護用具を持って説得後、警察官から指導を受けました。また、調理室から火災発生との想定で、両館内の利用者全員を職員が駐車場に避難誘導。消火器で消火活動も体験しました。



名曲の演奏とトークに感動

群響バレンタインコンサート



宝くじ文化公演「群響バレンタインコンサート」が2月8日、ふるさと産業文化館で開催されました。
竹本泰蔵さんの指揮で群馬交響楽団が凱旋行進曲や花のワルツなどの名曲を次々に披露しました。また、音楽物語「ピーターと狼」の曲では、矢崎滋さんのナレーションでオーケストラの演奏と物語が一緒になって進行。参加者は「すばらしい演奏とユーモアのあるトークで楽しく過ごしました」と話していました。